

情報公開文書

研究課題名：学習相談利用者の分類とコロナ禍前後の利用推移

1. 研究の対象

- 2014年度にキャンパスライフ支援室 TA として勤務した学生
- 2015年度から2021年度にかけて、キャンパスライフ支援室の「学習相談」を利用した学生

2. 研究期間

2015年3月～2022年10月 ※2022年6月のキャンパスライフ支援室運営委員会にて事後的に過去のデータの研究仕様について承認を得た。

3. 研究目的

東北大学理学部・理学研究科には専属の学生支援室であるキャンパスライフ支援室が設置されています。キャンパスライフ支援室は専門の相談員による「なんでも相談」と、大学院生による「学習相談」を中心的なサービスとして提供しています。この内、「学習相談」の利用者について、どのようなタイプの人がいるのか、また、それぞれのタイプの人たちの比率が年度によって異なるのかを明らかにし、その理由を考察することを目的とします。

4. 研究方法

この研究は2段階で構成されます。

1段階目では、キャンパスライフ支援室の TA を対象に、利用者のタイプに関する仮説を生成します。実際に利用者の対応に当たっている TA に調査を行うことで、実態に即したタイプ分けができると期待されます。この調査は2015年度にキャンパスライフ支援室の TA として勤務した学生を対象に行います。

2段階目では2015年度から2021年度に「学習相談」を利用した学生について、匿名化した情報を対象に分析を行います。具体的な分析項目は「5. 研究に用いる試料・情報の種類」をご覧ください。

「学習相談」の利用の仕方等を元に各利用者をタイプ分けし、各タイプの共通性を定性的に検討します。また、1年間の総利用件数と利用の仕方の多様性がタイプ間で異なるか定量的に検討します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

【情報】

- a) 利用者の属性 (学年, 学科, 性別)
- b) 相談した TA の属性 (数学, 物理, 化学, その他)
- c) 利用目的 (学習相談, 進路相談, 生活相談, その他)
- d) 利用内容の概要 (個人が特定できないように加工したもの)
- e) 各利用者の1年間の総利用件数

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者本人もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 電話：022-795-6706

E-mail：soudan [at]mail.sci.tohoku.ac.jp ※[at]→@に変換してください

研究責任者：東北大学大学院理学研究科キャンパスライフ支援室 岩淵将士

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」をご覧ください。

※注意事項：以下に該当する場合にはお応えできないことがあります（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)）

①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

個人情報の開示等を希望される方は「8. お問い合わせ先」にご連絡ください。

※注意事項：以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>）

2022年7月1日作成 (第1版)

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合